

実施日時 2025 年 2 月 21 日(金)19:00~20:30 JICA 沖縄体育館

来場者数 一般参加者 98 名、研修員 5 名、関係者 4 名

JICA 研修員(出身国)

研修コース:沖縄のツーリズム・ストラテジー(3ヶ国5名)

Mr. クラウディオ (アルゼンチン) Mr. ソレ (アルゼンチン)

Mr. アリエル (ブラジル) Mr. エリック (ブラジル)

Ms. チオ (ペルー)

当日の様子

開始当初は、雨の影響もあり参加者もまばらでしたが、予想を上回る多くの方に来場いただきました。初めに研修員による簡単な自己紹介の後、サークルジャンプという手法を用いて、研修員が回し役になってスペイン語でアクティビティを行い、リラックスした状態で賑やかにスタートを切りました。

今回はクイズとふれあいタイムを同時に行い、参加者は用意された質問から英語やスペイン語を使ってインタビューをしたり、ブースに貼り出された各国クイズに挑戦してもらいました。質問シートに記載の英語やスペイン語にはカタカナで読み方を記載したので、事後アンケートでは「挑戦しやすかった」と感想もあがっていました。

ペルーブースでは楽器も展示し、チオさんが「カホン」を打ち鳴らして見せてくれました。

低学年の女の子が挑戦すると後に続いて数名の子どもたちも楽器に触れ、音を鳴らして体感していました。

アルゼンチンブースでは南米原産のお茶“マテ茶”に触れ、茶葉やマテ壺のことを教えてくれました。温かいマテ茶も振舞われ、長蛇の列ができるほど人気でした。

パフォーマンスタイムではペルーのチオさんによるペルーダンスのレクチャーを受け、曲に合わせてステップを踏み、曲の終わりに「ペルー！！」と唱和する場面では会場全体が一丸となりました。

その他パフォーマンスでは浦添市内で活動する浦添ゆいゆいキッズシアターの皆さん(小3~高3)が浦添の歴史を題材とした演劇よりオリジナル曲“太陽の王子”を披露していただきました。曲中に手踊りやエイサーと沖縄らしさを散りばめたダンスで会場を魅了してくれました。

パフォーマンスの最後は南米のスポーツであるサッカーの技を披露した後に、子どもたちが研修員とサッカーを楽しんでいました。わが子のプレーに保護者の皆さんも応援に熱が入っていました。最後の「カチャーシー」もゆいゆいキッズシアターの子どもたちがリードしてくれ、踊りの輪が生まれ最終回にふさわしい賑わいとなりました。

パフォーマンスタイム出演団体

浦添ゆいゆいキッズシアター(11名)

